

さんぶの森避難所運営委員会設立準備協議会(第4回) 結果

1 概 要

(1) 日 時：令和7年2月22日(土) 10:00～12:20

(2) 場 所：さんぶの森中央会館2階 中研修室

(3) 参加者：区・自治会長 8名

自主防災組織 4名

防災士 5名

計 17名

(4) 協議要領

参加者全員による「さんぶの森避難所運営委員会マニュアル」作成に資する事項について協議・発表を実施

ア 第3回協議会の振り返り《5分》

イ 防犯《30分》

ウ ペットについて《30分》

エ 避難所会議《30分》

オ 拠点としての役割《30分》

カ 次回以降について《15分》

○協議の中で出たご意見等につきましては、今後の避難所運営改善のために対応等を検討していきます。

2 勉強会協議内容

(1) 議題1

防犯

【議題1に対する意見】

◇受付時のルール周知を徹底

→外国語表記も必要

◇外国籍の方への対応（文化、宗教の違いに配慮）

◇見回り、声掛けの実施（ベストやワッペンで運営委員とわかるような工夫）

◇悩みやストレスの相談を受けられる環境があるといい。

◇窃盗、盗難も考えられるので防犯カメラも必要では。

【市からの意見】

実際の避難所において飲酒して大声を出した方がいて、対応に当たらなければならなかったケースが発生している。

大切なのは意見にも出ているが、避難所のルールを受付時に周知し従えない場合には退去していただくことがあるということを最初に伝えておく事が重要になる。

(2) 議題 2

ペット管理

【議題 2 に対する意見】

- ◇平常時の対策も大事
広報誌、ホームページ、回覧（同行避難と同伴避難の違いなど）
- ◇登録台帳の整備
- ◇あくまで場所の提供のみで飼育は飼い主が行うことを徹底してもらう
（預かると責任が発生するため難しい）
- ◇同伴避難への対応も考えるべきでは。
- ◇車中避難をする方が多いのではないかな。

【市からの意見】

広報 1 月号にペットの避難に関する記事を掲載している。また、ホームページにも掲載しているのでご確認いただきたい。

実際の災害時にはペットの避難は車中避難の方が多い。避難所において同行避難可能であっても車中避難を選ぶ傾向がある。

(3) 議題 3

避難所会議

【議題 3 に対する意見】

- (参加人員)
- ◇運営委員会役員、区・自治会長等が参加するべき
- (会議内容)
- ◇避難者の状況（体調不良者、人数の増減）、不足物資の要望、問題点等を共有する。
- (実施時期)
- ◇朝、夕の 1 日 2 回
- ◇基本は朝実施、臨時で夕方も
- ◇昼（昼食時間後に開催）

【市からの意見】

避難所における避難者の状況や要望事項を災害対策本部へ伝える。また、災害対策本部から避難所への情報提供を周知していただくための大切な会議となる。状況に応じて参加者を加え定期以外にも開催する必要がある出てくることも考えられる。

(5) 議題 4

拠点としての役割

【議題 4 に対する意見】

- ◇他の避難所との連絡手段（公衆電話？）
- ◇役員同士の連絡手段（トランシーバー等）

- ◇物資の拠点になる←他の避難所から取りに来てもらう形
- ◇公民館に避難している人や在宅避難者との連絡手段
- ◇拠点として確立されることにより行政は拠点との連携に注力できる。
(小学校区単位の運営委員会の設立が必要)

※市で掌握した内容を記載しています。相違点があればご意見下さい

【今後について】

6月に市の防災訓練を予定しているが、それまでに設立して訓練ができればと考えている。

これまで協議いただいたマニュアルに対する意見を反映した(案)と会則(案)を配布するので確認してほしい。(次回の協議内容)